

対象年度	令和 3年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	文化振興事業						予算事業名	文化振興事業費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	文化芸術基本法, 結城市文化芸術条例					
			10	05	07	05	経常経費							
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-4個性豊かな芸術文化の創造(芸術・文化) ①芸術文化を楽しむ機会の充実 2郷土文化の振興						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	生涯学習課						
								文化係						
事業期間	継続 (年度～令和 3年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
市民が文化活動を支援し、また、その成果を発表する場の提供を行うことによって、本市の文化芸術活動の振興を図る。						市民文化センターや情報センターを本市の文化・芸術活動の拠点として位置づけ、市民の文化活動の支援を実施するため。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
・結城市文化協会への活動支援(補助金交付・活動周知及び啓発)						・市民 ・市文化協会 ・文化芸術活動を行う団体等								
						【事業をとりまく環境の変化】								
						社会情勢が急激に変化しつつある中、文化は人の心に豊かさや潤いを与え、活気あふれる地域社会を作り出すうえで重要であり、市として、体系的に文化芸術活動を推進するため、平成28年4月に、結城市文化振興条例を施行した。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援				・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援				・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援						

■事業費

		R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	717	739			
歳入計(千円)		717	739			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	10 需用費	112	134			
	13 使用料及び賃借料	200	200			
	18 負担金補助及び交付金	405	405			
歳出計(千円)(A)		717	739			
伸び率(%)			3.06			
備考	総合計画125ページ 予算書185ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	文化祭	回	目標	2.00	2.00	2.00
	文化団体に対して、文化祭行事の開催を支援し、市民が文化芸術に触れる機会を作る。		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	文化協会加盟団体・個人数	団体・人	目標	37.00	40.00	40.00
	市民参加型事業の実施を目指すことで、加盟団体個人会員の増加にも繋がる。		実績	40.00	0.00	0.00
	文化祭来場者	人	目標	2,500.00	2,500.00	0.00
	市民参加型事業を開催するため、文化祭行事を市民に定着させ、基盤を作る。		実績	2,500.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	文化祭等文化イベントを開催することで、市民の文化的生活の向上を目指し、未来の子供たちの文化育成につなげられるため。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	結城市文化協会が主体的に活動を行っている。
	手段の妥当性	A 妥当である	ゆうき市文化祭は、文化協会が主催し、準備や運営まで主体的に行い、市が補助金を交付するなど、活動を支援している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	文化協会加盟団体は増加傾向にあり、文化祭の運営や加盟団体の対応に人員と時間を要する。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	活動支援は文化協会加盟の団体や個人が主であり、それ以外の団体等との連携が課題である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	文化祭を各団体ごとではなく合同展として開催し、音楽部門も合同発表会として開催することで、文化祭来場者数の増加に繋げることができた。文化祭を通じて市民が文化に触れる機会を与え、市民の文化芸術の発展に寄与することができた。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	合同文化祭の開催は定着し、市民が文化に触れる機会を増やすことができた。それにより、文化祭の来場者数増加につながっている。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

ゆうき市文化祭は、市の秋の風物詩として定着されており、市民が直接結城の文化に触れる行事として期待されている。しかし昨今、文化協会会員の高齢化が懸念され、若年層の取り込みが課題である。文化協会や文化祭を広くPRし、文化祭の開催継続に向け、高齢者だけでなく、広い世代で参加する仕組みを作ることが大きな課題である。市の文化行政に大きく貢献している文化協会をさらに発展させ、市民の期待が高まっている文化祭を存続させることは必須である。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

文化協会のPRを行い、加盟団体数を増やすことと、市の文化行政及び市民の文化的生活の向上に貢献することを目指す。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的内容

結城市文化芸術推進基本計画の策定を契機に、結城市文化協会や他の文化団体との連携を図って、本市の文化芸術の振興に関する事業を体系的に実施していく。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。